

# 研究のまとめ

## 予測が難しい時代を 生き抜くために必要な力の育成

～「生徒支援」「学力向上」「働き方改革」三位一体のアプローチ～

### 教育長挨拶

青梅市教育委員会 教育長 橋本 雅幸

本校では2年間にわたり青梅市教育委員会研究指定校として、VUCA 時代を生き抜くために必要な力を育成する取組を進めました。汐見カウンセリングオフィス 所長 植原 亮太先生の御指導のもと、教職員が生徒を取り巻くメンタルヘルス問題を正確に把握し、支援することで、生徒が自信をもって学校生活を送れるようにしました。また、数多くの実践事例は、生徒・教職員に活力を与え、本校の取組を活性化させるものになりました。本研究を推進されました神田 哲男 校長をはじめ、教職員の方々、御指導を賜りました講師の先生、これまで本校の取組を支えていただいた保護者や地域の方々に深く感謝を申し上げます。

### 校長挨拶

青梅市立泉中学校 校長 神田 哲男

「『予測が難しい時代』を力強く生き抜く力を子どもたちに身に付けてほしい。」この願いを基に研究を進めてきました。学んだ知識を応用して発信する力、学びを支えるへこたれない力の育成。教育相談において正確に見立てる力。そしてこの研究を持続可能にするための教員のやりがいのある働き方にも注目しました。研究の成果を見ていただき、少しでも貴校のお役に立てれば幸いです。

これまで多大なる御助言をいただき研究を支えてくださいました青梅市教育委員会の皆様方、講師の先生方に深く感謝申し上げます。



青梅市立泉中学校

### (4) 学力向上 NRT(数研式 標準学力検査)の結果

※ セルの色は学年カラーを示す(同色は同一集団)

全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握する相対評価法による検査である。各学年、毎年同様の問題を解くことで推移をみる。全国平均値を50として考えるテストである。理科を例にとると、2023年(令和5年)に入学した現3年生は、1年次には42.6 2年次には44.0 3年次には44.6 4年次には44.6と毎年上がっている。他の教科も同様に学力が上がっているのがわかる。『習得⇨探究⇨発信』の流れのある授業やワクワク感のある授業を日々実践してきた成果である。

		国語			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	46.3	46.1	46.1	47.7
	2年	48.4	46.5	49.3	50.7
	3年	48.1	48.1	50.2	47.7
全体		47.6	46.9	49.0	49.1

		社会			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	44.2	43.6	43.7	44.4
	2年	48.5	43.9	44.0	47.8
	3年	44.8	46.1	49.2	47.8
全体		45.8	44.5	45.8	46.7

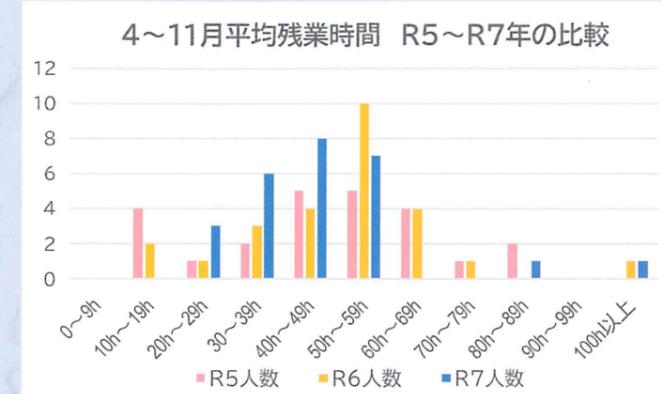
		数学			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	48.0	47.0	47.1	47.9
	2年	49.7	47.1	46.7	49.8
	3年	48.6	46.4	50.2	50.2
全体		48.8	46.9	48.1	49.3

		理科			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	45.6	44.6	42.6	44.1
	2年	50.6	44.0	42.6	52.9
	3年	44.6	46.0	52.0	49.2
全体		46.6	44.9	46.0	48.9

		英語			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	51.2	48.3	49.3	50.5
	2年	49.9	49.3	49.3	51.7
	3年	47.6	49.4	50.3	51.7
全体		49.5	49.0	49.7	51.4

		教科総合			
年度	学年	2025	2024	2023	2022
1年	1年	47.1	46.0	46.0	46.9
	2年	49.4	46.2	46.4	50.6
	3年	46.6	47.2	50.4	49.5
全体		47.7	46.5	47.7	49.1

### (5) 働き方(時間外労働時間)



留守番電話時間設定の変更、ICTの有効活用、ウェルビーイング研修、保護者・地域の理解促進などの実施から教職員の働き方が少しずつ変わり、時間外労働時間の短縮につながっている。また、「生徒情報共有シート」や「授業観察クイックシート」などを開発し、教職員全体で共有したことも時短につながった。

### (6) 今後の課題

#### <生徒支援部会>

- 費用対効果の検討(マナーシートなどの成果物だけでなく、その都度粘り強く指導することも必要)
- 持続可能な支援方法(予算と人材の持続的な確保が必須)

#### <習得部会>

- 家庭学習(自学習)の習慣化に向けた取組
- 各教科から得る宿題の量的バランス

#### <発信部会>

- キーワードもしくは箇条書きから説明につなげること
- 発信に必要な語彙力と書く力の向上
- 実技教科での発信方法(例:生徒同士での教え合い)
- 授業外での発信力向上(例:行事・委員会・部活動など)

#### <探究部会>

- 習得との時数バランスの検討(探究過多は時数不足)
- 探究した内容を振り返りにつなげること。(特に、学びにくさのある生徒が、文章でまとめるための支援と、評価に向けての見取りと記録)

### 御指導いただいた先生方

汐見カウンセリングオフィス 所長 植原 亮太 様  
学びの共同体研究会スーパーバイザー 谷井 茂久 様

医療法人社団新町クリニック 院長 神應 知道 様  
青梅市教育委員会 指導主事 小口 寿輝 様



青梅市立泉中学校

〒198-0024 東京都青梅市新町1-37

TEL 0428-31-2297

FAX 0428-32-7096

https://www.city.ome.tokyo.jp/site/izumi-j/



◀ R6-7年度 本研究に携わった教職員



# 1 研究構想図

## 目指す生徒・集団の姿

- 励まし合い、支え合うことができる生徒・集団
- 自己有用感を高め、はつらつと活動できる生徒・集団
- 主体的に課題解決ができる生徒・集団



## 研究主題

### 予測が難しい時代を生き抜くために必要な力の育成

～「生徒支援」「学力向上」「働き方改革」三位一体のアプローチ～

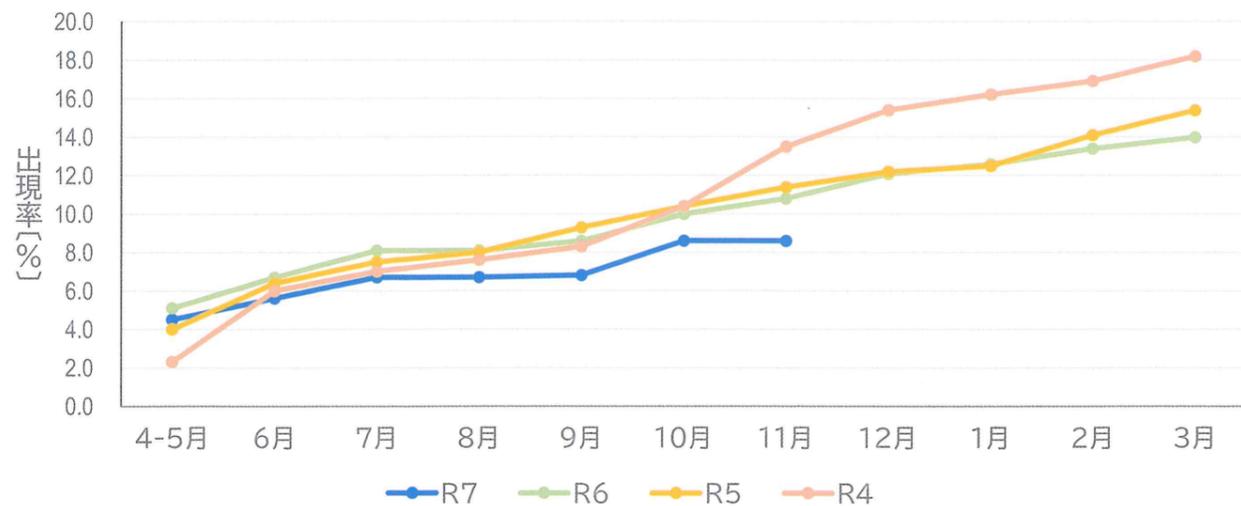
## 研究仮説

メンタルヘルス問題を正確な「見立て」で生徒支援をすることを前提に、『習得⇄探究⇄発信』の見通しを立てた授業を行うことで、はつらつと活躍する自己有用感の高い生徒を育成できるであろう。

# 2 研究の成果

## (1) 不登校支援

月別 不登校出現率(30日以上欠席者累積)



本校は長年不登校生徒数が多く、令和4年度末では30日以上欠席者数は全体の18.23%であった。時間割に支援委員会(週1時間)・教育相談委員会(月1時間)を入れ、生徒理解を深めながら支援の方法を協議した。また令和6年度から東京都の事業である別室登校支援員制度を活用し、元教員をはじめ地域の方をお願いをし、計7名の校内別室指導支援員を毎日配置できるようにした。別室で勉強ができる環境を整えるなど様々な取り組みをした結果、年々不登校の出現率は下がっている。実際に、中学校在学時には別室利用が多かった生徒が、上級学校では通えているという事実がある。

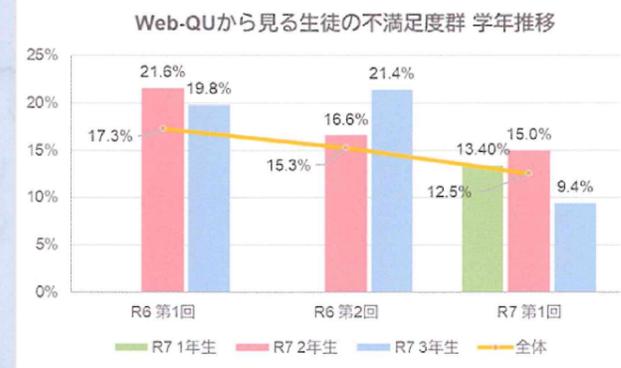
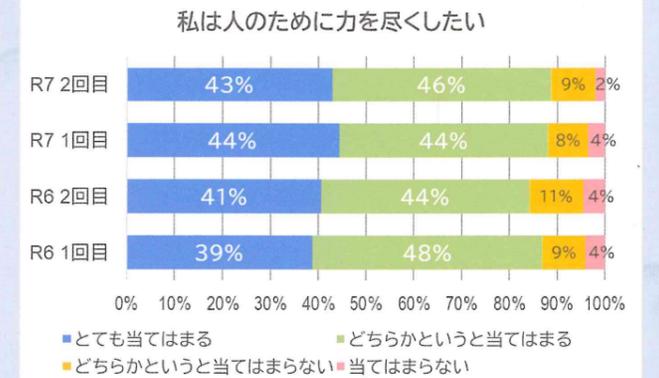
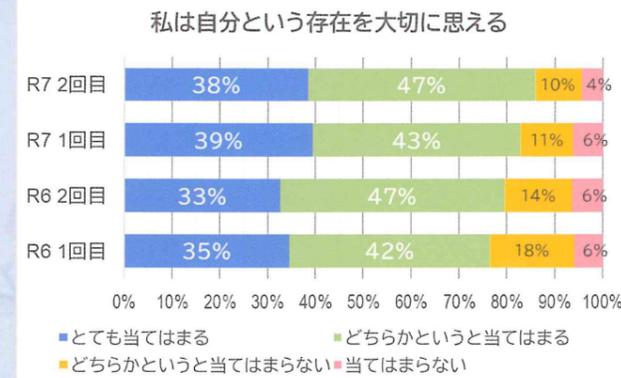


## (2) 自己有用感の醸成

令和4年度から令和7年度 全国学力・学習状況の生徒質問紙(本校3年生) [単位: %]

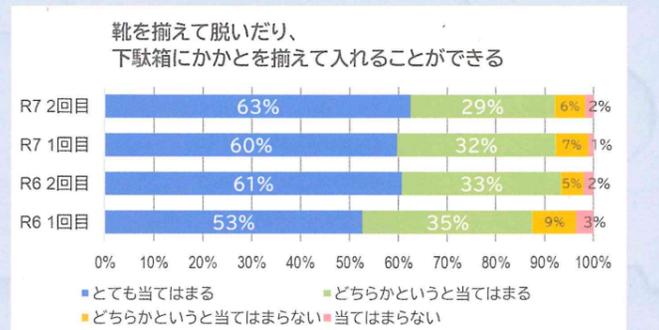
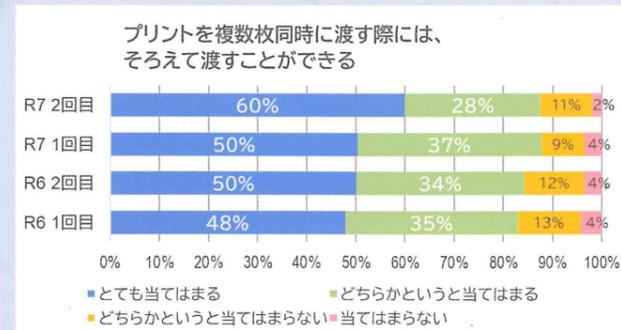
質問項目	R7	R6	R5	R4	R7都	R7全国
平日、一日当たりどれくらいの時間、スマホ等でSNSや動画視聴などをしていますか。(1時間以上)		86.4		78.3		
自分には良いところがあると思いますか。 [青梅市学力向上5か年計画数値目標 R6 80%→80.4% R7 83%→87.5%]	90.9	81.5	78.8	70.4	86.7	86.2
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.7	84.5	86.2	77.3	91.1	92.2
将来の夢や目標を持っていますか。	60.6	66.0	60.2	70.5	66.3	67.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.3	97.1	98.3	93.1	95.2	95.9
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	76.2	62.1	78.0	56.5	72.8	73.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	97.2	97.1	95.9	90.4	95.6	96.6
学校に行くのは楽しいと思いますか。	82.6	78.6	88.6	72.2	86.5	86.1
平日、学校の授業以外に一日あたりどれくらい勉強しますか。(1時間以上) [2時間以上は全国 30.8% 都 38.5% 市 23.7% 泉中 27.5%]	55.9	62.2	74.8	66.0	69.0	61.6
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。 [青梅市学力向上5か年計画数値目標 R6 78%→82.7% R7 80%→83.8%]	89.9	85.4	87.0	80.0	85.2	84.7

セルの凡例: ■: 全国平均より1割以上、上 ■: 全国平均より1割以上5割未満、下 ■: 全国平均より5割以上、下



予測不能な時代を生きていく生徒に、どんな困難にも乗り越えられる「へこたれない力」をつけるために、「傾聴を中核とした言葉の指導」を徹底し、生徒が活躍できる場面を意図的に設定し、居場所づくりをした。WEB-QUからは生徒の不満足度群も下がってきている。様々な取り組みを行った結果、生徒の自己有用感が上がってきたことがアンケート結果からも見受けられる。

## (3) マナー育成



人に助けってもらえる人間性を高めるためには、気持ちの良いマナーや振る舞いができるようにしたい。模範となる挨拶やマナー、振る舞いを日常的に教えれば意識が高くなる。

# 3 研究概要図 ~潤心 Gear~



## ボランティア活動 ~IZUMI Doers~

Google Classroomで参加者を募り、事後は生徒手帳にボランティアシールを貼り、やる気 UP。



## マナー・振る舞いの指導



▲あいつ4ヶ条ポスター ▲IZUMI マナーシート

▲泉中全員清掃(伝統の雑巾がけ)

## GoogleFormで欠席連絡



▲担任からの連絡の要・不要を選択可

## ナイスの木 ~せーの、いい根~



- (1) 生徒のいいね!を教員が職朝シートに入力
- (2) フルーツに記入し、職員玄関前に貼る
- (3) フルーツでいっぱいになったら、別の木へ引っ越しを指示

## 不登校支援・別室支援

- 「不満足群」の生徒への個別対応する。**
  - 意識的な声掛け & SCや養護教諭につなげる。
  - 支援委員会で情報共有 → 見立てと対応を組織で検討
- 生徒の存在や頑張りを認める場を増やす。**
  - 生徒の頑張りを可視化(たより・教室掲示・「ナイスな木」)
  - 生徒主体の活動(行事、ボランティア活動)
- 少数や目立たない生徒の意見を活用する。**
  - 挙手には消極的な生徒の意見を意識して拾う。
  - Google Forms、ミライシード等の活用



▲個別の配慮 ▲視線を遮る工夫 ▲外国ルーツの生徒にも対応

## 図書館の環境整備



▲PCを使うため応接室を模様替えした



## 教育相談 ~まずは3つの見立てから~



## 法律・ガイドラインの理解

- 教育基本法(特に第10条「第一義的責任」)
- 学校教育法(特に第21条「義務教育の目標」)
- 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法
- 学校と教師の業務の3分類(文部科学省指針)
- 学校部活動及び地域クラブ活動に関する 総合的なガイドライン(東京都)

▲「法令上すべきこと」「教育上した方がよいこと」「本来しなくてもよいこと」に分類

## 保護者・地域の理解促進

全会議で共通の「生徒情報共有シート」を使用する。  
※詳細は二次元コードのリンク先参照

## 働き方改革(法律遵守)



▲留守番電話設定時刻を、17時半に先行実施(後に、市内全小中学校16時45分に繰上げ)



▲三者面談の意識改革「全校進路だより」



▲校長室だよりで情報提供



# 学力向上

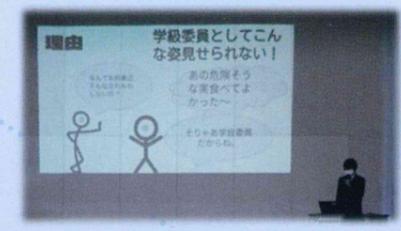
## 帯活動



▲号令後、即クイズ(すわれま 10)

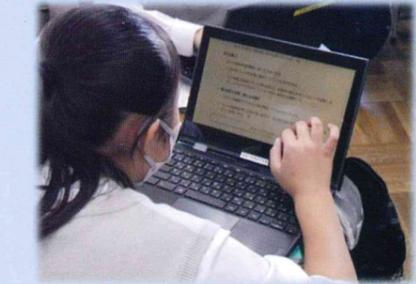


▲音楽の最初にアクティビティ



▲学年内学習発表会(授業で選抜)

## デジタルとアナログのバランス



▲生成 AI の活用(市内試験実施)



▲実際に直接書き込む(地理・技術)



## 導入の工夫



▲密度「鉄 1kg と綿 1kg」(理科)



▲生徒によるロールプレイ(社会)

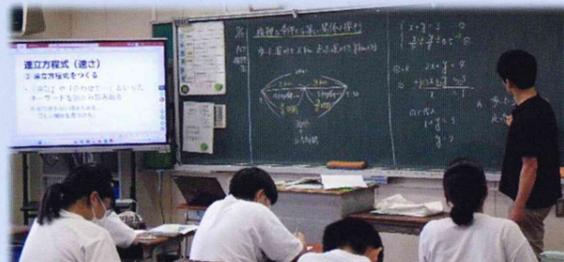


▲クイズでウォーミングアップ(国語)

## 振り返りの工夫



▲生成AIの活用(保健体育)



▲前提の知識を伝えたあと、探究へ(数学)



▲笑顔で聴き合える関係づくりが大切

## 学校衛生委員会の活用



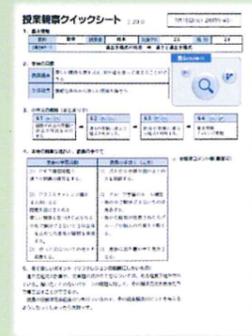
産業医面談  
職場環境アドバイス

◀新町クリニック  
神應先生

## 業務工数軽減

日	時	科目	単元	内容	単元別達成率(%)	単元別到達率(%)	単元別到達率(%)	単元別到達率(%)	単元別到達率(%)
10/10	10:00	国語	1	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	2	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	3	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	4	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	5	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	6	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	7	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	8	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	9	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%
10/10	10:00	国語	10	小説の読み方	95%	90%	85%	80%	75%

▲授業研究進捗一覧(一目で状況が分かる)



▲授業参観クイズシート

20分以内に完成できる  
ことを最優先に開発



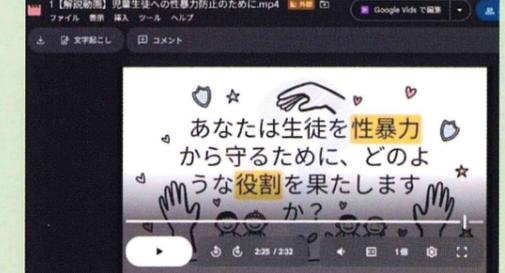
▲採点ソフトの積極活用

## ペーパーレス対応



▲職朝シートで職員朝礼の時短

## 生成 AI の活用



▲生成AIの「動画解説」機能を活用した研修動画の作成



▲生徒評価の分析(インフォグラフィック)

### 泉中プレゼンルール

▼各4つに精選

**話し手**

- 教室の後ろまで聞こえる大きさの声を出す
- 聞き取りやすいスピードで話す(速すぎ、遅すぎ NG)
- 聞き手にアイコンタクトをとる(ノー原稿発表)
- 聞き手の注目を集めるジェスチャーをする

**聞き手**

- 大きな相づちやリアクションをとる。
- 否定しないが、自分なりの考えをもつ。
- 発表が終わったら、大きな拍手をする。
- 「事実」「伝聞・推測」「感想」を分けて聞く。

### ノー原稿発表

全ての活動は、原稿に頼らず自分の言葉で(≠原稿丸暗記)

▲生徒総会

▲自作すぐろくの解説(家庭科)

▲合唱祭のクラス予備機

▲偽金貨は何でできている? 根拠をもって発信する(理科)



### 共有の課題

確認レベル

前時の復習に関わる課題  
教科書を見て理解できる課題

「聞き合い」「学び合い」の活動

ジャンプの課題

探究レベル

高次の思考を用いる課題  
主体的に学びが深まる課題  
生徒の知的好奇心を上げる課題

